

# キラリよしおか古語り⑫



大利根川の岸边に上流（北方）に向かって観音様が立っておられる。田畑や人々を御守り下さるかのように。

1947年（昭和22年）9月9日より断続的に降りだした雨は、13日に至り徐々に本格的となり、同時カスリーン台風発生 of 気象特報が発せられ、14・15日に降り続き、13日以降の降雨量は、392ミリに達した。これは群馬県の平均年間降水量の3分の1に及ぶもので、1904年（明治37年）災害時336ミリ、1935年（昭和10年）災害時217・5ミリを、はるかに超える最高記録を示した。その後、キャサリン台風を初めとして、翌年のアイオン台風、さらに翌々年のキティー台風と、3年連続して当地は台風に襲われた。

## 洪水除け観音

利根川の洪水氾濫は物凄く、田畑や家まで流された人もあり、漆原地区の人々は、生きた心地がしなかったという。とりわけ天狗岩用水の水堰は、ここより東北60メートル余りのところにあったが、修理のたびに破壊された。戦後の疲弊した世間にゆとりはなく、群馬県より復旧工事の依頼を受けた佐田組は、前橋刑務所の100人以上の協力を得て、着工以来5カ月の1950年（昭和25年）4月の末に完成した。

普通観音様は南西向きに立っているが、上流から押し寄せる水を食い止めるため、濁流をにらみ付けて怖い顔で立っている。延々と続くこの堤防上に、観音様が関係者によって建立され、未来永劫の除災が祈念された里人は「洪水除け観音」と呼び敬い尊んでいる。 参考文献：吉岡村誌

## 編集後記

日本列島全体を春の嵐と思われる強風が吹き荒れて、全国各地に多くの被害を与えた3月1日に、平成30年第1回の議会定例会が開会され、16日間の会期で行われました。

平成30年度の予算が可決されて、重要財源はまちのために、十分に精査をしたなかで、有効に使ってほしいと思います。

さて、平成の元号が変わるのも残り1年となり、次はどんな元号になるのか大変気になるところですが、私たちの任期も残り1年になりました。

議会だよりの編集も、見やすい、読みやすい、議会だよりを、届けていきたいと思っていますので、これからも感じたままの、素直なご意見をお寄せください。

（竹内 憲明）

## 編集委員

委員長 金谷 康弘  
副委員長 村越 哲夫  
委員 高山 武尚  
竹内 憲明  
五十嵐 善一  
大林 裕子  
富岡 大志